

協働通信

今回は、都留文科大学の学生が運営する『人と人、夢と夢を繋げる』Café Sowersの黒澤さんにお話を伺いました。



■店舗の様子
店舗は今年の1月オープン。空き家になっていた店舗はみんなで改装しました。木の温かみを感じると素敵な店内です。



■手作りのメニュー
おすすめはコーヒーとカレーです！カレーは栄養面を考えたドライカレーで、お客さんの意見を聞きながら今も開発を続けているそうです。

(写真提供：都留文科大学生 谷端真依さん)

カフェ Sowers とは、どんなカフェですか？

メンバー全員が『人と人、夢と夢を繋げる』のコンセプトを共有し、運営しています。学生と学生だけでなく、地域の人も繋がって、やりたいことや得意なことを繋げていく場所を目指しています。
カフェを始めたきっかけは何ですか？
僕が、休学中に地域の方のお家で1年

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1 都留市まちづくり交流センター (旧文化会館) 1階
▽開館 火～日(祝日除) 8:30～17:15
▽問い合わせ先 mail: shien@city.tsuruyamanashi.jp ☎(43)1321 FAX(43)1322

間下宿させていただいたことがきっかけでした。地域で暮らすことで、地域の魅力や素敵な人がいることに気づけたんです。その時に、「空き家も増えてきて、地域の繋がりが薄い」という話を聞いて、「地域の繋がりを深める機会をつくらう」と思いつきました。最初は友人と4人で、移動販売車から始めました。

普段のお店の様子を教えてください！

お客さんは、また学生が多いです。でも、最近大学の先生や単身赴任で都留にいられてる方とか、大人も増えてきました。お店は平日の夜だけで、土日はイベントのために空けています。学生主催のイベントもあります。地域の方に企画を持ち込んでもらうこともあります。他には、『1日店長』体験もあります。「お店を持ってみたいけど、毎日ではできない」という地域の方に、1日店長をやってもらうんですが、今後もっと充実させたいですね。

今後、挑戦していきたいことはありますか？

今は平日夜しか空けられていないので、昼間を市民の方に『1日店長』とかで活用してもらいたいです。関わる人が昼と夜で変わり、『昼と夜で表情が変わる』カフェにしたいですね。それと、移動販

売車を利用して、じょいする市場とか、もっと地域に出て宣伝して、地域活動にも参加したいと思っています。

他には、今後メニューを地産地消のものに変えていく予定です。都留の良さを『食』でも伝えるために、学生のフットワークの軽さを活かして、生産者を訪ねようと考えています。生産者のインタビューを記録して、QRコードやチラシにして、『メニューの物語』をお客さんに伝えられるようにしたいです。

地域の方々へメッセージをどうぞ。

「何で人と人を繋げたいの？繋げた先には何かあるの？」と聞かれることがあります。僕は、お互いができることや得意なことを繋げていくことで、『人と人が繋がって、共生』していけると考えています。Café Sowersは、そういう繋がり場として、もっと良くなっています。メニューも試行錯誤なんですけど、お店の運営とかイベントも試行錯誤。ぜひ、地域の方にも気軽に関わって、一緒に活動していただきたいと思います。



私たちが一緒にCafé Sowersをつくっていきませんか

「こんなことやってみよう」「1日店長の体験をしてみたい」そんな地域の方を待っています！ぜひ、気軽に足を運んでみてください。

※改装等でお休みの場合もあります。

地域のお知らせ

谷村地域 夢実現ひるば『懐かしの映画会』いっしょに歌おう歌声喫茶

懐かしいスクリーンを観て、思い出に浸ろう！

日時 8月24日(木)13時30分～15時30分
場所 まちづくり交流センター4階
問合先 まちづくり交流センター ☎(43)1321

開地地域

開地ふれあい集会

日時 8月27日(日)11時～
場所 すげのレジャー
問合先 開地地域協働のまちづくり推進
会会長 荻窪 守 ☎(43)7593

地域協働の活動

〜 禾生地域協働のまちづくり推進会
環境美化活動の一環として6月の土日を利用して、各地のポケットパークなどに花の植栽や草取りなどを行いました。

